

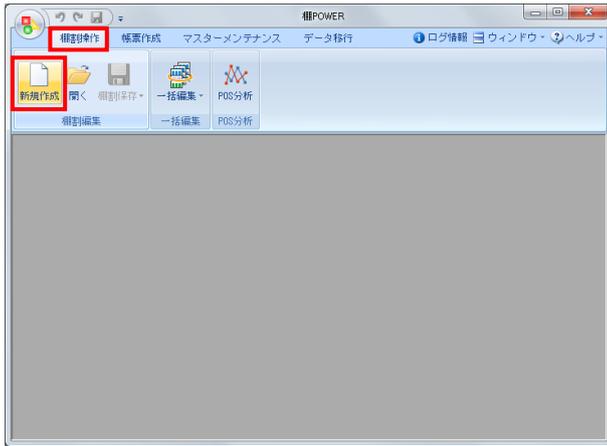
棚POWER[®]

～スキルアップ研修会テキスト～

目次

棚割モデルの新規作成.....	1
基本情報の登録.....	2
什器の編集.....	3
商品の配置.....	5
商品の配置（応用）.....	7
圧縮陳列と連結.....	8
棚割モデル保存.....	9
帳票作成	
棚割図表.....	10
陳列商品一覧表.....	11
追加変更一覧表.....	12
サポートセンターのご紹介.....	14

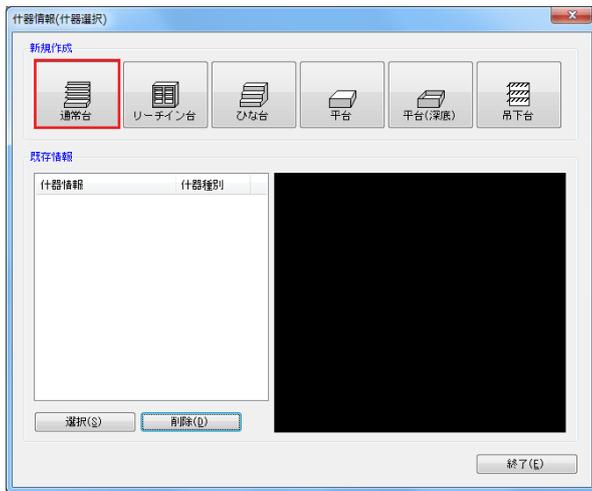
■ 棚割モデルの新規作成



1. 本テキストでは新規作成から棚割編集を行なう手順を研修内容に沿って説明します。

棚POWERでは作成する棚割のことを「棚割モデル」と呼びます。

新規で棚割モデルを作成する場合は、[棚割操作] - [新規作成] をクリックします。



2. [什器情報(什器選択)]画面が表示されます。使用する什器を選択します。

[通常台] をクリックします。
各什器の詳細は下記の通りです。

【通常台】

一般的な1段目に袴があるタイプの什器。

【リーチン台】

通常台に枠と扉を付けた什器。
冷蔵用の棚などに使用します。

【ひな台】

商品を階段状に陳列する什器。
ひな壇陳列を再現する場合に使用します。

【平台】

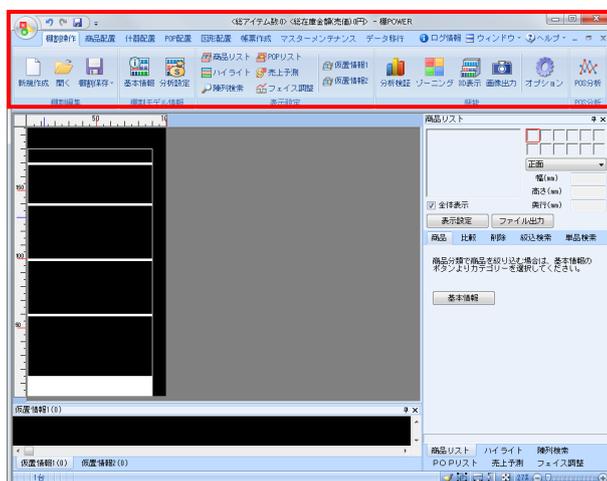
棚板がなく、台の上に商品を置くタイプの什器。
島陳列を再現する場合に活用します。

【平台(深底)】

棚板がなく、台の中に商品を納めるタイプの什器。
冷蔵ケースを再現する場合に活用します。

【吊下台】

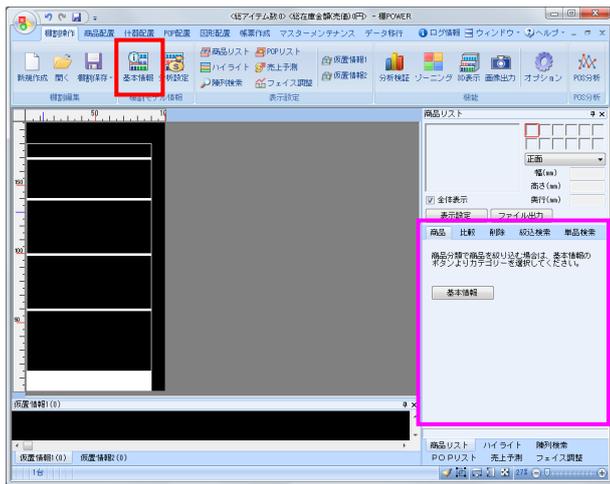
1段目に袴がないタイプの什器



3. 什器を選択すると棚割編集画面が表示されます。各タブの構成が変わります。

棚割モデルの作成に必要な[商品配置]や[什器配置]といった機能が表示されます。

■基本情報の登録



1. 新規作成の場合、これから作成する棚割モデルがどのような棚割モデルなのかを「基本情報」より登録します。

【棚割操作】－【基本情報】をクリックします。

【参考】

基本情報内「カテゴリー」の設定が行われていない場合、商品リスト内に左図（ピンク枠）のようにメッセージと「基本情報」ボタンを表示します。こちらの「基本情報」ボタンをクリックすることでも設定できます。



2. 【基本情報】画面が表示されます。各項目を入力します。セレクトボタンをクリックして一覧より選択することも可能です。

【カテゴリー】

どのカテゴリーの棚割モデルなのかを設定します。

【企業/店】

どの企業/どの店舗の棚割モデルなのかを設定します。

【棚割モデル種別】

実施と提案があり、グループ分けを行いません。次回棚割モデルを「提案」に、実際に採用した棚割モデルを「実施」として利用するなどのルール付けを行なって管理できます。

【展開時期】

作成する棚割モデルの展開時期をプルダウンメニューより選択します。

【展開開始/展開終了】

作成する棚割モデルの展開する開始日や終了日を入力します。日付をキーボードで直接入力するか、《年/月/日》をクリックしてパソコンの日付を設定することができます。

【棚割モデル名称/作成者氏名】

棚割モデルの名称や作成者の氏名を入力して管理します。

【作成日付】

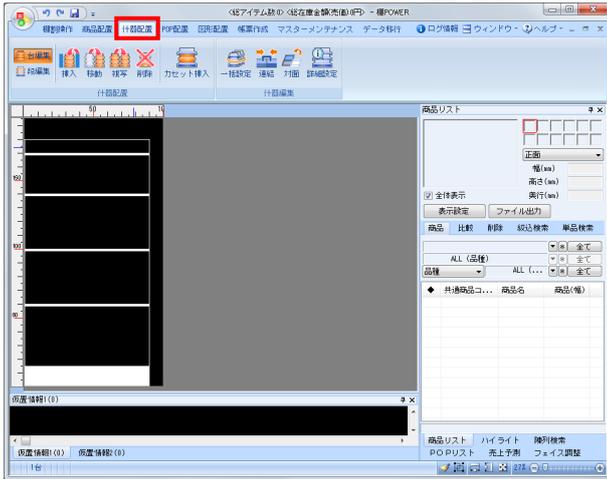
棚割モデルがいつ作成されたのかを登録します。日付をキーボードで直接入力するか、《年/月/日》をクリックしてパソコンの日付を設定することができます。

※基本情報の登録は必須ではありません。

基本情報を登録していない場合でも棚割編集を行なうことは可能です。

各項目設定後に【設定】をクリックします。

■ 什器の編集

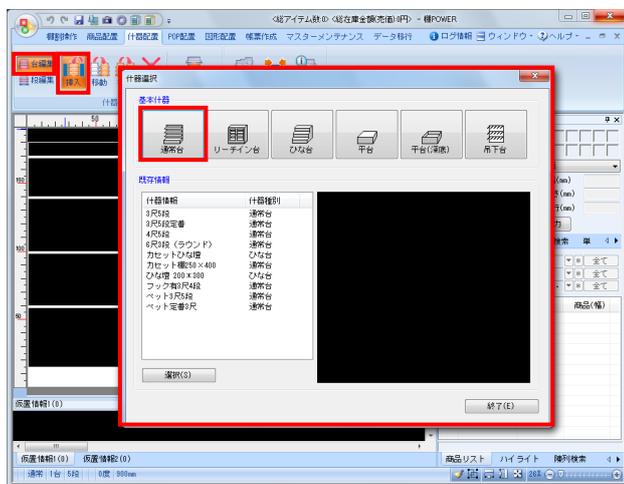


1. 商品を陳列する前に、什器の編集を行ないます。
[什器配置]タブをクリックします。

[什器配置]タブ内には什器の編集に関する機能が集約されています。

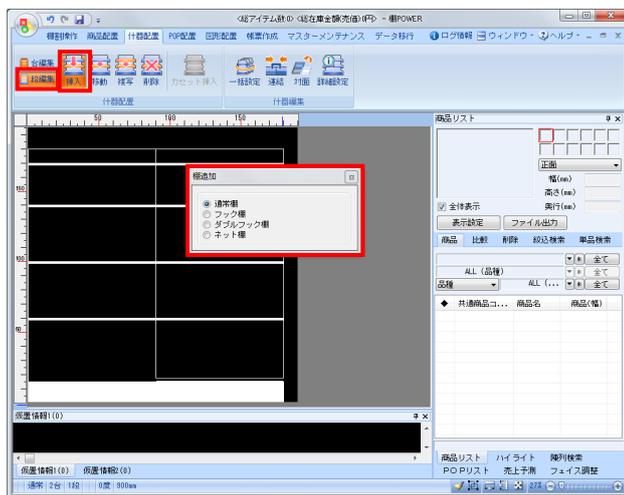


左端の「台編集」「段編集」のアイコンから、台を編集するのか、段(棚)を編集するのかを決定します。



2. 新たに台を挿入する場合は、[台編集] - [挿入] から挿入する什器を選択します。

挿入したい場所でクリックすると、台が追加されます。台の移動や複写、削除も「台編集」を有効にして操作する必要があります。



3. 新たに棚を挿入したい場合は、[段編集] - [挿入] から棚の種類を選択します。

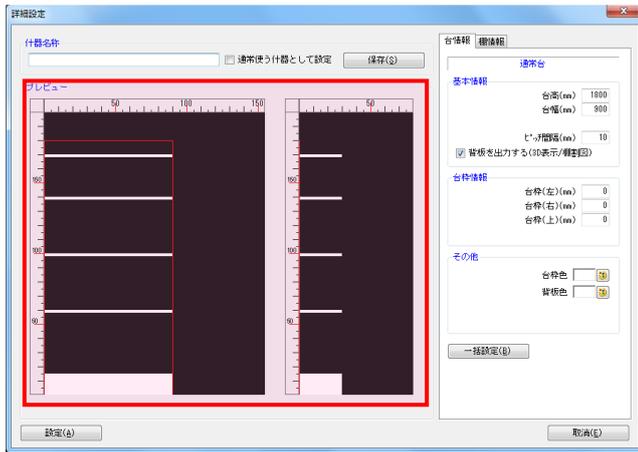
挿入する棚は「通常棚」「フック棚」「ダブルフック棚」「ネット棚」より選択可能です。

挿入したい場所でクリックすると、棚が追加されます。棚の移動や複写、削除も「段編集」を有効にして操作する必要があります。



4. 「挿入」「移動」「複写」「削除」の機能を活用することで基本的な什器編集が可能ですが、什器の細かな設定は「詳細設定」から調整します。

[什器配置] - [詳細設定] を選択して、編集したい什器をクリックします。

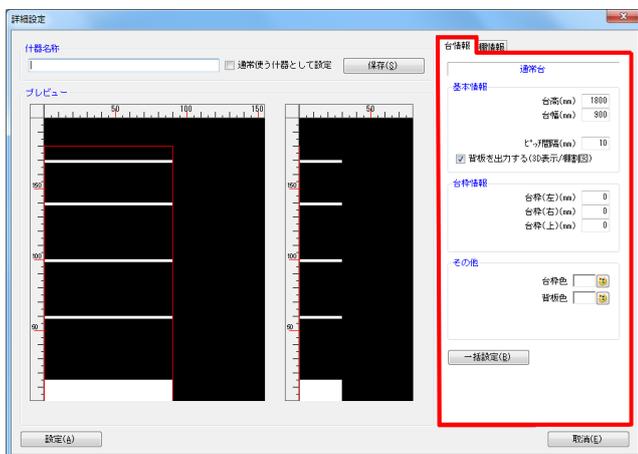


5. [詳細設定] 画面が表示されます。
画面左側には什器のプレビュー画面が表示されます。

プレビューよりマウス操作で什器を編集することが可能です。

例えば、台幅を変更したい場合、台の右端にある赤線にマウスカーソルを合わせるとアイコンの形状(左右の矢印)が変化します。

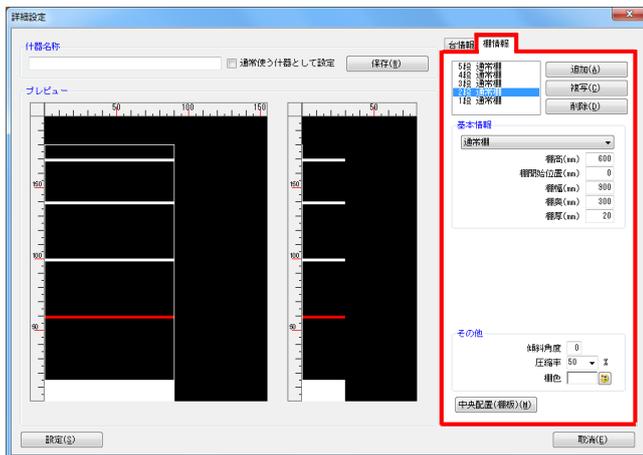
形状の変化を確認後にクリックします。
変更したい位置で再度クリックすると台幅の変更が完了します。同じ手順で台高や棚高の変更も可能です。



6. 詳細設定画面右には台の高さや幅が数値で表示されます。
この数値を変更して什器のサイズを変更することもできます。

[台情報] では、台全体のデータが表示されます。
台幅を変更する場合、「台幅」の項目に数値を入力します。

入力後にEnterキーを押すとプレビューに反映されます。



7. [棚情報] では各段の棚高や棚幅が表示されます。

編集したい棚を選択します。
選択した棚高を変更する場合は、「棚高」の項目に数値を入力します。

【基本情報】

「棚高」「棚開始位置」「棚幅」「棚奥」「棚厚」の項目に数値入力します。数値入力後にEnterキーを押下するとプレビューに反映します。

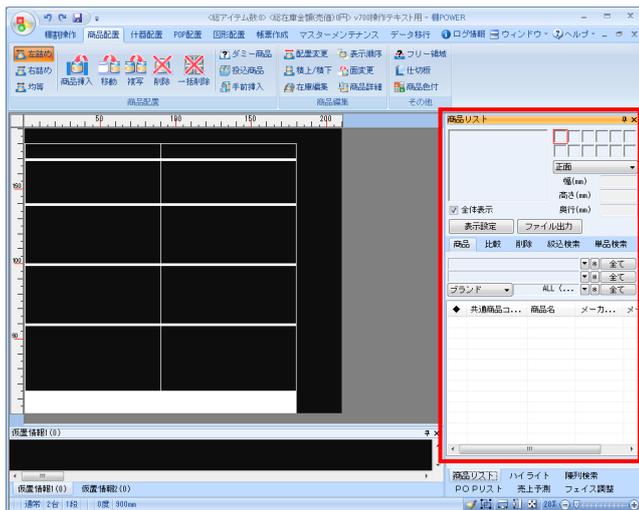
【その他】

「傾斜角度」「圧縮率」「棚色」の設定を行いません。

- ※ 下段から1段目としてカウントします。
- ※ 傾斜角度は3D表示で確認できます。
- ※ 圧縮率は圧縮陳列を再現する場合に設定します。
圧縮率を「100%」にすると圧縮陳列されませんが、「50~99%」にするとその値に応じて商品を圧縮して陳列します。

各設定完了後、画面左下にある[設定]をクリックすると設定内容が反映されます。

■商品の配置



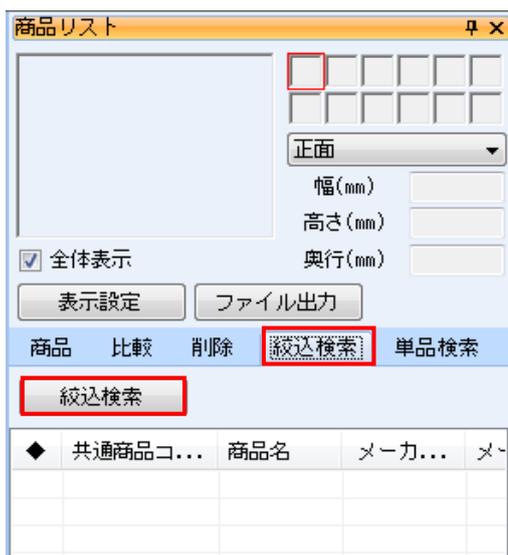
1. 商品の陳列を行ないます。
[商品配置] タブを選択すると商品の配置に関する機能が表示します。

棚割編集画面の右側には商品リストが表示されます。
この商品リストより陳列する商品を選択します。



2. [単品検索] タブから陳列したい商品のJANコードやプライベートコード（社内での通用コードや商品コードなど）を入力して特定の商品を検索できます。

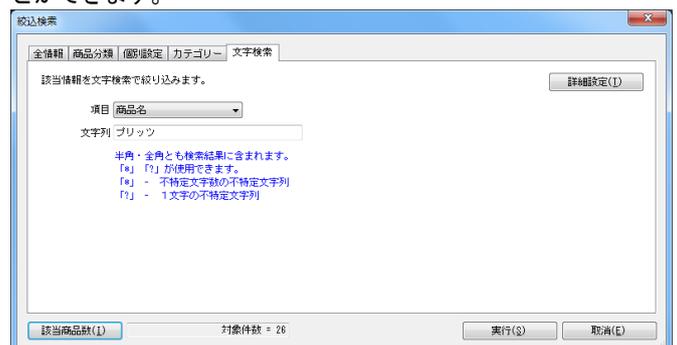
「共通商品コード」欄にJANコードを13桁（または8桁など）
入力してEnterキーを押下することで登録商品呼び出すことができます。

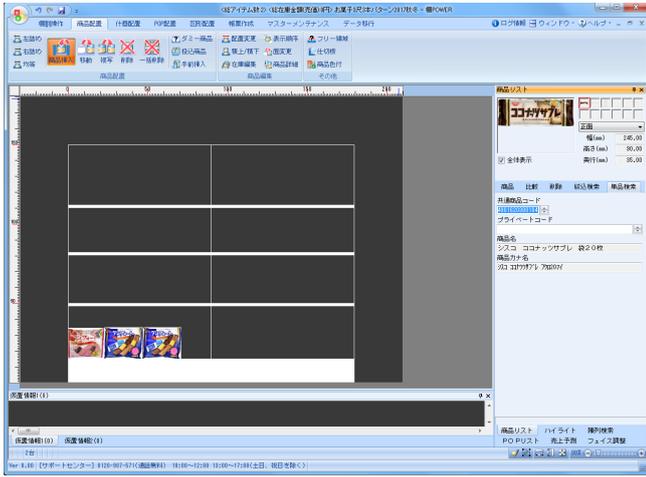


3. [絞込検索] タブからは、全商品から条件を指定して商品を絞り込みます。

例えば、陳列する商品を商品名で検索する場合には
[文字検索] タブより、項目を「商品名」にして文字列に
商品名を入力します。

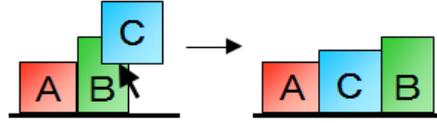
左下の「該当商品数」をクリックして実行すると商品名に
入力した文字が含まれる商品を全て商品リストに表示させる
ことができます。





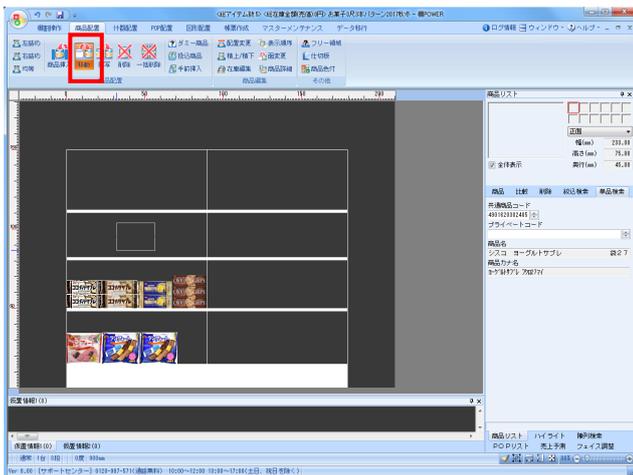
- 商品の挿入を行いません。
商品リストより陳列したい商品を選択して棚の陳列したい場所でクリックします。

陳列済の商品と商品の間に、新たな商品を挿入したい場合は、挿入したい場所の右側にある商品をクリックすると、間に陳列することができます。



- 商品配置方法は「左詰め」「右詰め」「均等」から選択可能です。

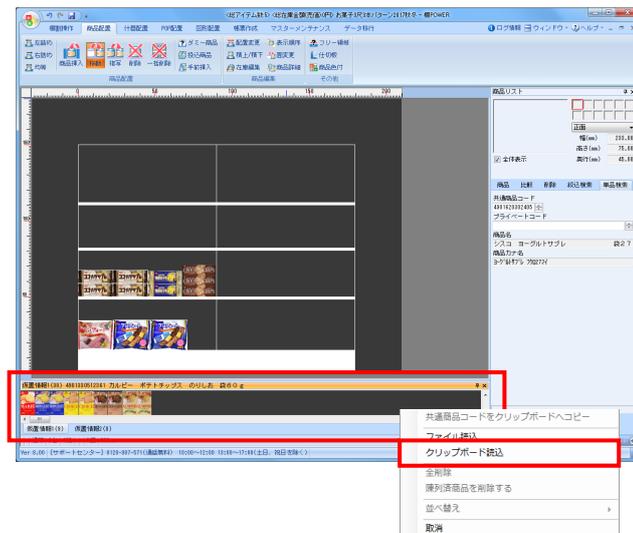
挿入方法が有効になっているとオレンジ色になります。有効箇所を再度クリックすると無効にでき、その場合にはクリックした場所に商品が陳列されます。



- 棚に陳列した商品を移動します。
[商品配置] - [移動] を選択して、棚内の移動したい商品をクリックします。移動したい場所で再度クリックすると陳列する商品の位置を変更できます。

商品の複写も手順は同じです。商品を削除する場合には [商品配置] - [削除] を選択して削除したい商品をクリックします。

※ドラッグ（範囲選択）することで、複数商品をまとめて移動/複写/削除することも可能です。

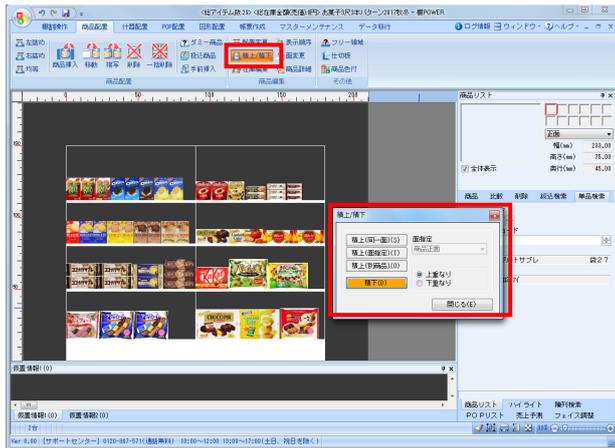


- 棚割編集画面の下には置き情報が表示されています。棚以外の場所に商品を一時的に並べる場合に置き情報を活用します。

置き情報には「1」と「2」があるため、それぞれに陳列候補商品やカット候補商品を並べるなどの使い分けが可能です。

【参考】
Excelファイルなどに記載されているJANコードをコピーして、置き情報ウィンドウ内で右クリックして「クリップボード読み込み」を選択すると、コピーした商品が置き情報に表示されます。
置き情報に表示された商品は、[商品配置] - [移動] もしくは、[複写] を使用して棚に陳列することができます。

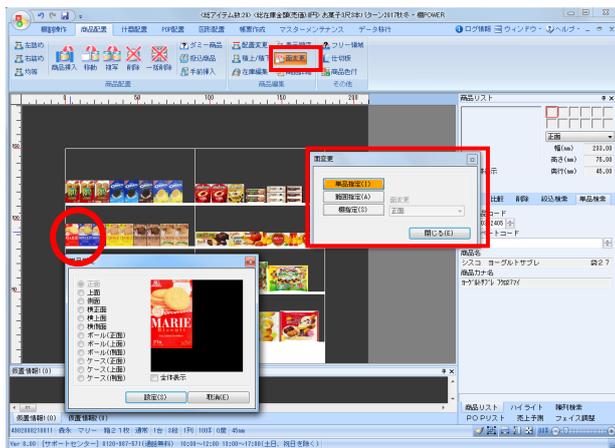
■商品の配置（応用）



1. 商品の積上げを行いません。
[商品配置] - [積上/積下] をクリックします。

商品を同一面で積上げる場合は[積上(同一面)]を選択して、積上げたい商品をクリックします。

※ドラッグすると複数商品をまとめて積上げできます。
※商品を積下げる場合には[積下] ボタンを使用します。

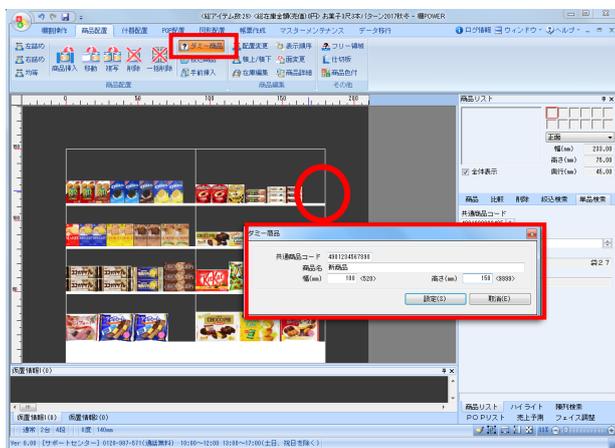


2. 陳列商品の陳列面を変更するには、「面変更」を活用します。
[商品配置] - [面変更] をクリックします。

1商品ずつ変更する場合は[単品指定]を選択して、陳列面を変更したい商品をクリックします。

変更したい陳列面を選択して[設定]をクリックすると、選択した商品の陳列面が変更されます。

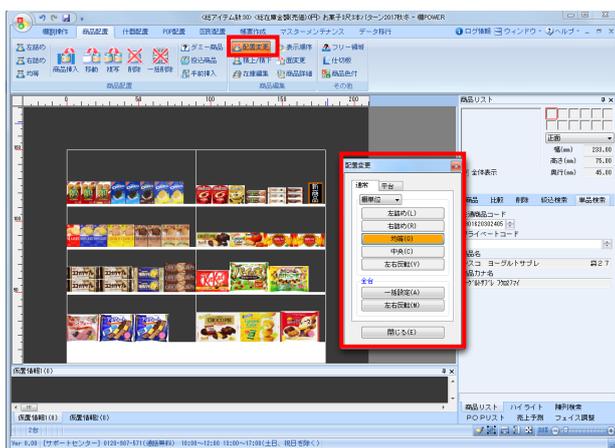
※単品以外にも、[範囲指定]や[棚指定]が可能です。



3. 商品マスターに登録されていない商品を陳列するには「ダミー商品」を活用します。

[商品配置] - [ダミー商品] を選択して、陳列場所でクリックしてから「共通商品コード」「商品名」「幅」「高さ」を入力して[設定]をクリックします。

※入力したJANコードが正しくない場合や任意の数字を設定した場合にチェックデジットエラーが発生します。

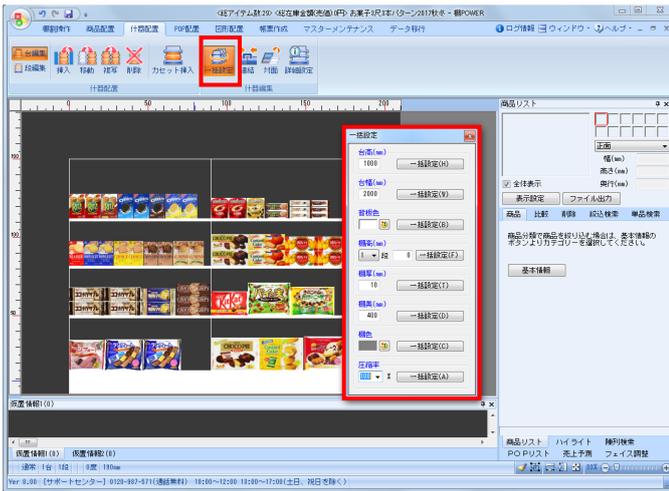


4. 商品の配置を整えるには[配置変更]を活用します。
[商品配置] - [配置変更] をクリックします。

「左詰め」、「右詰め」、「均等」などの項目を選択して配置位置を変更したい棚でクリックします。

商品を全て均等に配置したい場合は、均等を選択して全台的[一括設定]を実行することで陳列間隔が統一されます。

■圧縮陳列と台跨り陳列

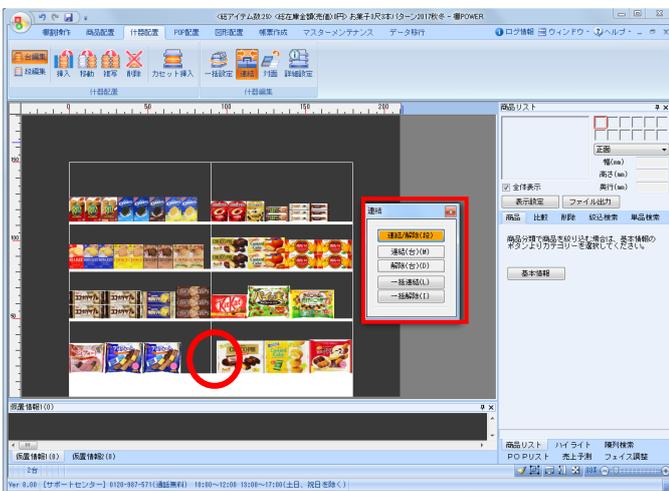


1. 新規作成で棚割モデルを作成する際、商品は最大で半分のサイズまで圧縮して陳列することができます。

圧縮陳列をできないようにするためには [什器配置] - [一括設定] をクリックします。

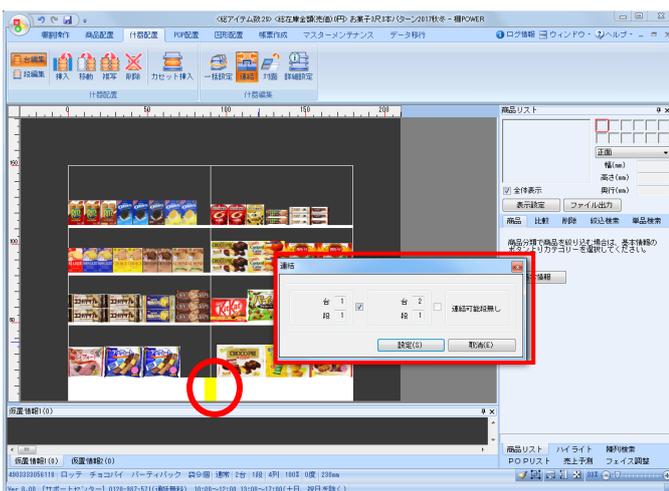
一括設定画面にある圧縮率を「100%」にして、その横にある [一括設定] を選択すると圧縮陳列できないようになります。

※特定の段だけ圧縮陳列できるようにするためには、その段の圧縮率を100%以下に設定する必要があります。設定方法はP4をご参照ください。



2. 1台目と2台目を跨った位置に商品を陳列する場合には、什器に対して連結の設定を行なう必要があります。

[什器配置] - [連結] をクリックします。
[連結/解除(段)] を有効にして該当の棚を選択します。



3. 連結させたい台と台の間のチェックボックスを有効にして、[設定] をクリックします。

連結した箇所は黄色で表示されます。
連結ができれば以下のように台跨りの陳列ができます。



※連結を解除する場合にはチェックボックスを無効にします

■棚割モデル保存



1. 棚割モデルを保存します。
[棚割操作] - [棚割保存] をクリックします。

新規作成で棚割モデルを保存する場合は「上書き保存」や「名前を付けて保存」を選択すると内部モデルで保存されます。

【内部モデル】

環境設定で指定されているフォルダーに保存されたものを「内部モデル」と呼びます。

【外部モデル】

環境設定で指定されているフォルダーとは別の場所(デスクトップなど)に保存する棚割モデルを「外部モデル」と呼びます。

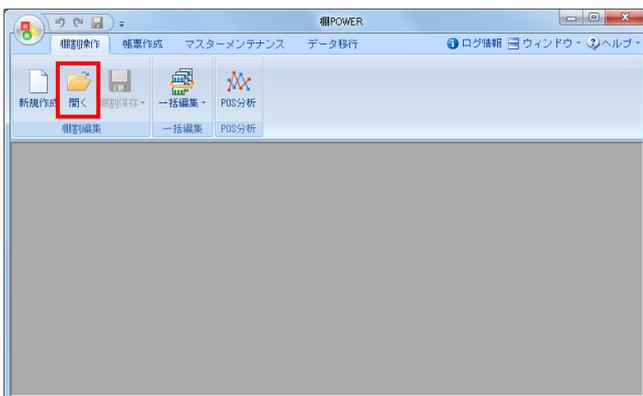


2. 基本情報の設定画面が表示されます。
必要に応じて内容の修正を行ない、[保存] をクリックすると内部モデルとして保存されます。



3. 開いている棚割モデルを閉じる場合には、画面左上の棚POWERの丸いボタンをクリックします。

メニューの一覧より、[閉じる] をクリックします。

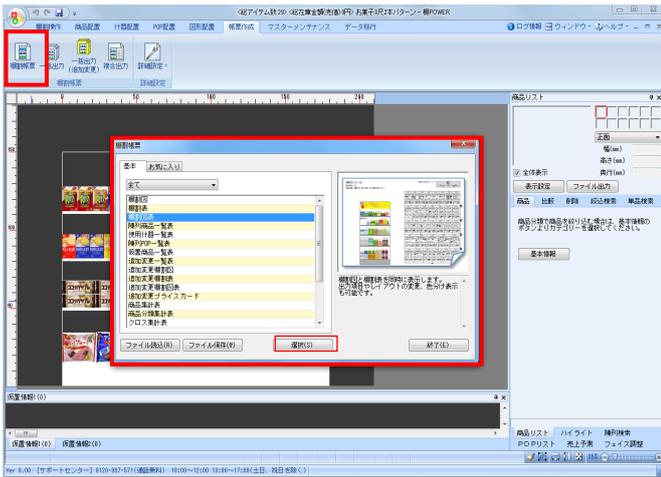


4. 保存した棚割モデルを開く場合には [棚割操作] - [開く] をクリックします。

[検索] ボタンをクリックして、開きたい棚割を選択して [開く] をクリックすると保存した棚割モデルが開きます。



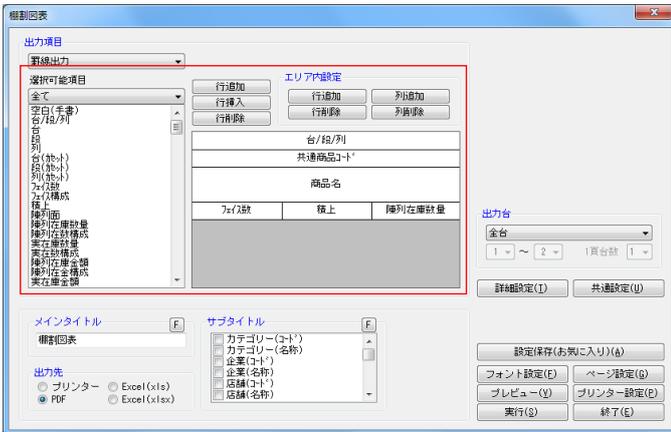
■帳票作成（棚割図表）



1. 作成した棚割モデルの帳票を作成します。
[帳票作成] - [棚割帳票] をクリックします。

出力できる帳票の一覧が表示されます。
帳票名を選択すると右側に出力する帳票のイメージ図と概要説明が表示されます。

ここでは、棚割図表を出力します。
帳票の一覧より「棚割図表」を選択して、[選択] をクリックします。



2. 棚割図表の設定画面が表示されるため、レイアウト上で設定したい行または列を選択して、選択可能項目から出力する内容を選択します。

【レイアウト設定】

行追加：最終行に空白行を追加します
行挿入：選択行の上に空白行を挿入します
行削除：選択行を削除します

エリア内設定

行追加：1行分の高さを追加します
行削除：複数行の高さを1行ずつ削除します
列追加：選択行内に列を追加して分割します
列削除：追加された列を1列ずつ削除します

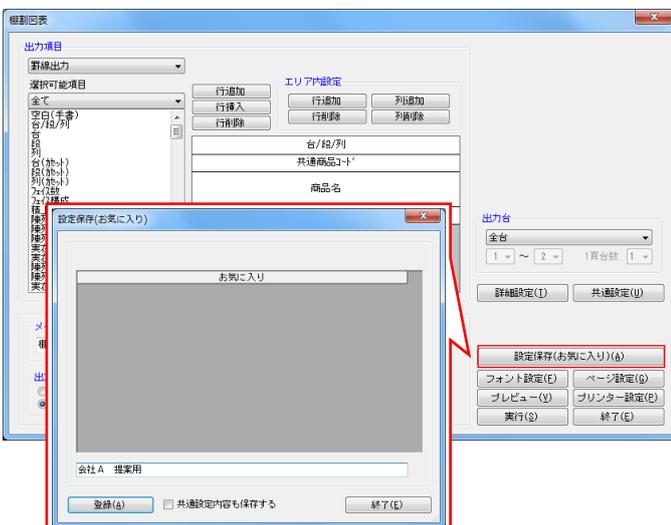
出力台と出力先を設定して [実行] をクリックして保存先を指定すると帳票が出力されます。



3. 出力後、画面右上の [×] ボタン、もしくは画面右下の [終了] ボタンをクリックします。

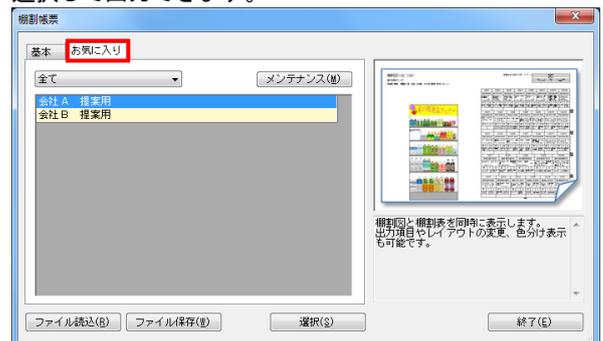
前回の設定内容から変更があった場合には、左図のメッセージが表示されます。

[はい] を選択すると帳票の設定内容が保存され、次回以降に同じ設定で出力する場合の手間を省略することができます。

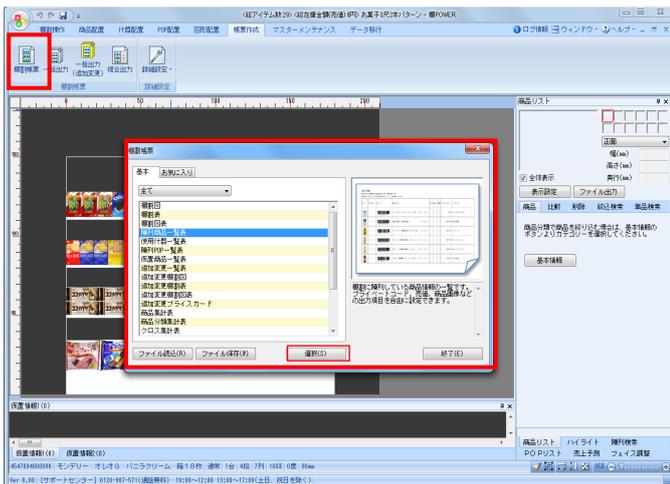


2. 提案企業別に設定内容を保存する場合には [設定保存 (お気に入り)] より名称を入力して登録します。

設定保存した帳票は帳票一覧画面の [お気に入り] タブより選択して出力できます。

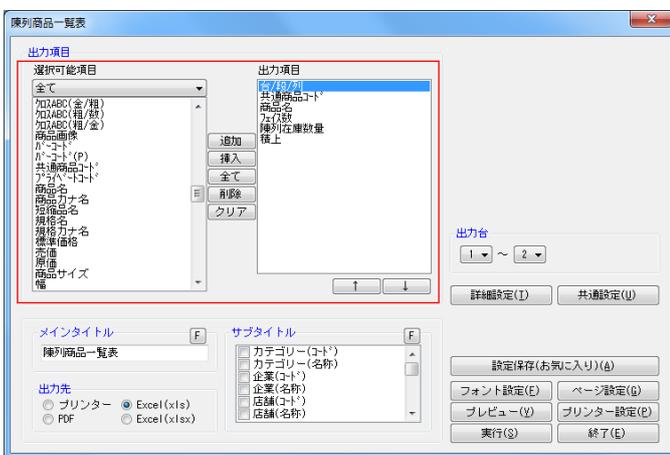


■帳票作成（陳列商品一覧表）



1. 棚に陳列されている商品の一覧表を出力したい場合には、陳列商品一覧表を使用します。

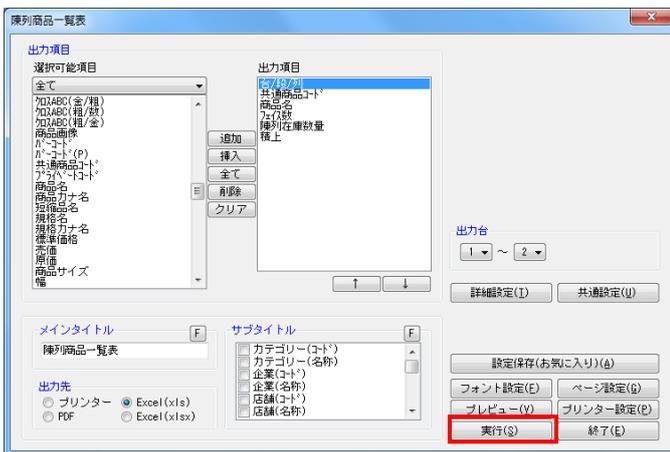
「帳票作成」－「棚割帳票」をクリックします。
帳票の一覧より「陳列商品一覧表」を選択して、「選択」をクリックします。



2. 陳列商品一覧表の設定画面が表示されるため、出力する内容の設定を行ないます。

「選択可能項目」より出力したい内容を選択して「追加」をクリックします。（出力項目に追加されます）

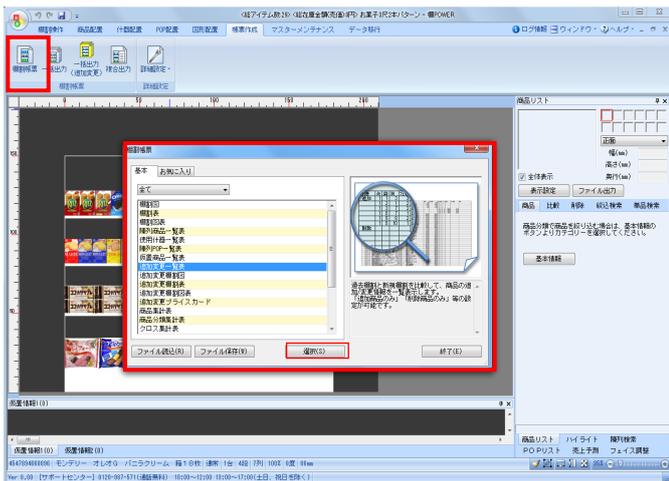
出力する項目順を変更する場合は項目を選択して「↑」「↓」をクリックして変更します。



3. 出力先よりExcelやPDF、プリンターを選択して「実行」をクリックします。

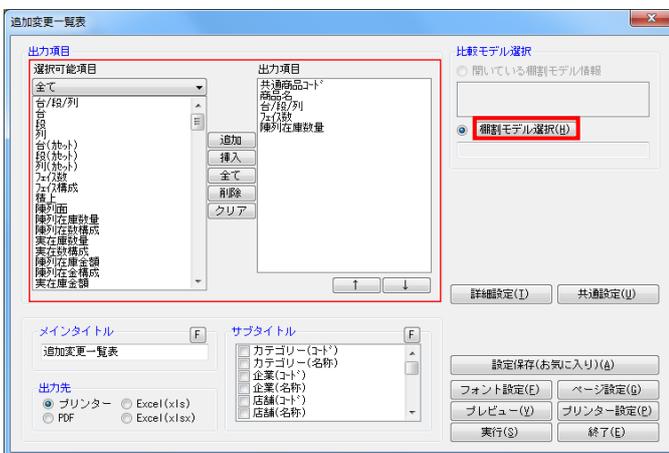
保存場所を決定して、任意のファイル名を入力して「保存」をクリックすると帳票が出力されます。

■帳票作成（追加変更一覧表）



1. 開いている棚割モデルと別の棚割モデルを比較して、追加やカット商品の明細を出力する場合は追加変更一覧表を使用します。

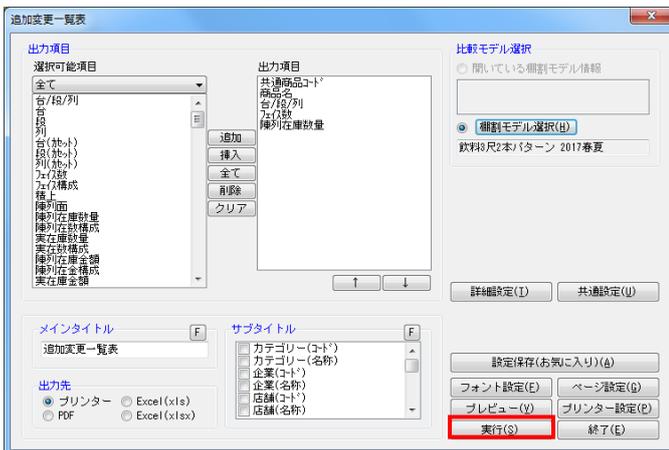
〔帳票作成〕－〔棚割帳票〕をクリックします。帳票の一覧より「追加変更一覧表」を選択して、〔選択〕をクリックします。



2. 〔棚割モデル選択〕より比較したい棚割モデルを選択します。その後、選択可能項目より出力したい項目を選択して〔追加〕をクリックします。

出力する項目順を変更する場合は項目を選択して〔↑〕〔↓〕をクリックして変更します。

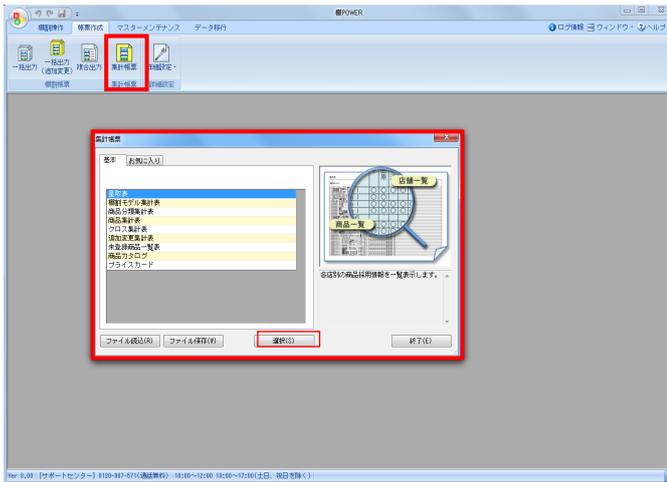
※比較モデルには開いている棚割モデルと比較する変更前、もしくは前回の棚割モデルを選択します。



3. 出力先よりExcelやPDF、プリンターを選択して〔実行〕をクリックします。

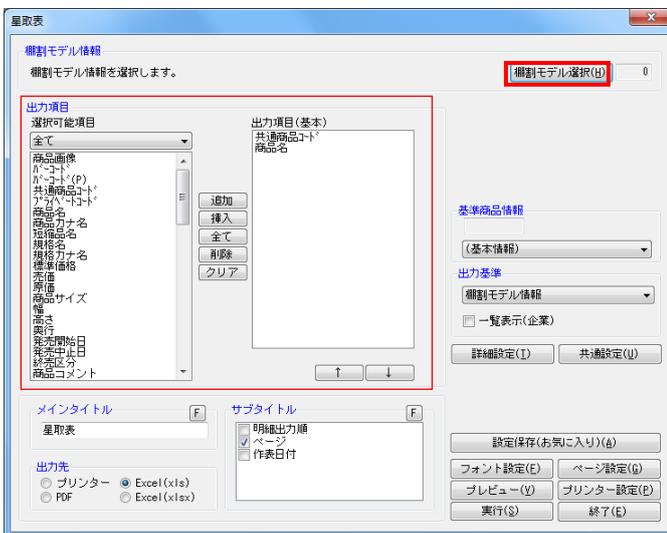
保存場所を決定して、任意のファイル名を入力して〔保存〕をクリックすると帳票が出力されます。

■集計作成（星取表）



1. 複数の棚割モデルを集計して、各棚割モデルの商品取扱状況を確認する場合には星取表を使用します。

[帳票作成] - [集計帳票] を選択します。
一覧より「星取表」を選択して [選択] をクリックします。



2. [棚割モデル選択] より出力対象となる棚割モデルを選択します。選択後には出力する項目の設定を行いません。

選択可能項目より出力したい項目を選択して [追加] をクリックします。

出力する項目順を変更する場合は項目を選択して [↑] [↓] で変更します。



3. 出力基準は「棚割モデル情報」を選択します。「一覧表示(店舗)」は無効にします。

出力先よりプリンター、Excel出力などを選択して [実行] をクリックすると星取表が出力されます。

【参考】

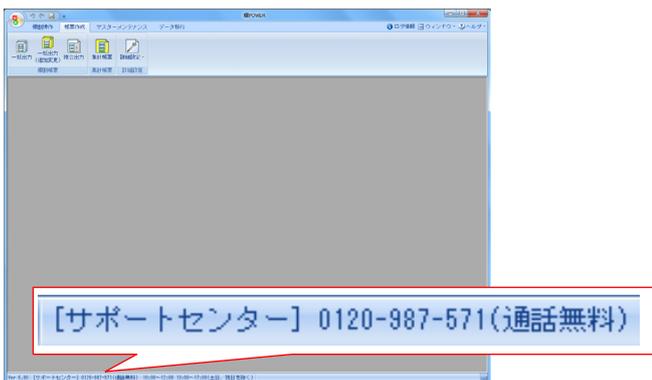
「一覧表示(店舗)」を有効にすると各モデルを採用している店舗を確認できる星取表が出力できます。

また出力基準を「店舗」にした場合には店舗基準で商品の取り扱い状況を確認できるようになります。

どちらの場合にも棚割モデルと店舗の関連付けを設定されていない場合には出力できません。

(関連付けが未設定であれば出力時にメッセージが表示されます)

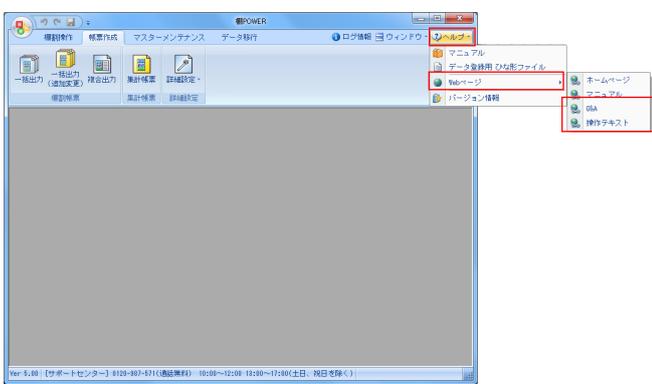
■サポートセンターのご紹介



1. 棚POWERの画面下部(ステータスバー)にはサポートセンターの連絡先と営業時間が記載されています。

棚POWERの操作に関するご不明点やご要望があれば、サポートセンターまでご連絡ください。

■サポートコンテンツのご紹介



[ヘルプ] - [Webページ] を選択するとQ&Aや操作テキストを公開しているページが開きます。
(棚POWERのATWサービスご利用の方はヘルプよりWebページを閲覧できませんので、ご注意ください。)

■Q & A

Q&A キーワード検索

検索

注) スペースで区切って複数語検索が可能です

Q&A ランキング

▶ 参照の多い「よくあるご質問」はこちら

「プロデクターを正しく装着していません。」が表示される
最新表を作成したい

旧棚POWERが入っていないパソコンで新棚POWERに全データを移行したい
プロデクターを交換したい

棚POWER以外の棚割ソフトに棚割モデルデータを選択したい

カテゴリー別

事前準備	棚割に必要なデータ
・ 利用環境 (11件)	・ データの登録をする (23件)
・ インストール (6件)	・ データの確認をする (4件)
	・ 不要なデータを削除する (5件)

[キーワード検索]

機能名やエラー内容などを入力して検索すると関連する文書が表示して操作手順を確認できます。

[ランキング]

よくあるお問合せや参照数の多い文書をランキング形式で表示しています。

[カテゴリー別]

文書をカテゴリー別に分けて公開しているため、直感的に確認したい文書を見つけることができます。

■操作テキスト

サイトトップ > ユーザーサポートメニュー (バナー・クラウド) > 操作テキスト

ユーザーサポート	操作テキスト
ユーザーサポートメニュー	製品を使用する一連の流れや、各機能について、画面付きで分かり易く説明した操作テキストです。PDFファイルでダウンロードしてご利用いただけます。
サポートセンターのご案内	左側タイトルより統合PDFファイルを、右側からは個別のファイルをダウンロードいただけます。
Q&A (よくあるご質問)	
操作テキスト	
棚POWERデータ登録用ひな形ファイル一覧	
研修内容のご案内	
メール届着情報サービス登録フォーム	
バージョンアップダウンロードサービス	

スペースマネジメントシステム 棚POWER	
棚割編集-基本編	棚POWERの起動から、新規作成での棚割編集、棚割保存・帳票作成までの基本操作全般を説明しています。
カセット仕器編	カセット仕器の概要、登録手順や活用方法について説明しています。
帳票作成編	棚割モデルを元に簿列商品の一覧や追加、削除になった商品の一覧などの帳票を出力する方法について説明しています。 I. 棚POWERにおける帳票とは II. 棚割モデルの簿列内装を出力する III. 新旧の棚割モデルを比較して追加変更内装を出力する IV. 複数の棚割モデルを対象に一括で帳票を出力する

9種類の操作テキストを公開しています。
確認したい操作テキストをダウンロードして参考資料や社内研修などにご活用ください。

参考

現在公開中の操作テキストは以下の9種類です。

「棚割編集-基本編」	「カセット仕器編」
「帳票作成編」	「マスターメンテナンス編」
「データ移行編」	「データインポート編」
「棚割分析編」	「一括編集・応用編」
「帳票サンプル」	